



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月13日

上場会社名 株式会社インバウンドテック 上場取引所 東  
コード番号 7031 URL <https://www.inboundtech.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 東間 大  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO 専務執行役員 管理本部長 (氏名) 金子 将之 TEL 03-6274-8400  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：無  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	1,625	△17.2	△32	—	△56	—	△71	—
2025年3月期第3四半期	1,964	△21.0	26	△89.6	22	△91.2	3	△98.0

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 △64百万円 (—%) 2025年3月期第3四半期 2百万円 (△98.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	△30.28	△29.35
2025年3月期第3四半期	1.28	1.24

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	2,694	1,893	57.1
2025年3月期	2,843	1,983	57.5

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 1,537百万円 2025年3月期 1,634百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,600	2.2	135	531.2	105	562.4	60	—	24.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	2,523,475株	2025年3月期	2,492,275株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	136,300株	2025年3月期	92,600株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	2,370,246株	2025年3月期3Q	2,462,088株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書 .....	5
四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、マルチリンガルCRM事業における日本語案件につきましては、民間企業から受託する案件数は安定的な増加が続いております。案件単位の売上・利益の額が大きい官公庁等の入札業務については、第2四半期中までに開始となる案件については計画に近い形で獲得が進捗いたしました。当第3四半期につきましては首相交代による政権の枠組み変更などにより、入札の公示が後ろ倒しとなるなど外部要因による影響を大きく受けたことによって獲得計画との乖離が生じ、また、同業務における競合の参入増や人件費の高騰などから原価の面でも厳しい外部環境が続いており、その結果、売上及び利益の確保においては計画を下回る進捗となりました。一方、多言語分野に係る業務の受注及び入電数については、インバウンド需要増に伴い順調に増加傾向が続いており、今後も安定した成長が見込まれる状況です。その他、連結子会社である株式会社OmniGridにつきましては、IVRサービス及びBizTAPに関する事業売却が完了し、のれんの償却負担減と収益化している既存事業のBizTAP AIとデスクウイング事業に集中することで同社の売上高は売却前と比べ減収傾向となっておりますが、利益構造は大きく改善し、グループへの利益貢献体質へと転換しております。

セールスアウトソーシング事業においては、主力業務であります訪問による東京電力グループの顧客向け営業業務が計画に近い形で進捗しました。一方、もう一つの主力業務であったソフトバンクにおける契約勧奨業務については、他社業務委託先による個人情報流出の疑いによって営業目的での架電が第2四半期中に停止となり、当第3四半期連結累計期間においては、売上については代替案件の立ち上がりにより時間を要していることから計画を下回る進捗となりましたが、利益についてはほぼ計画通りで推移いたしました。第4四半期以降については代替案件を立ち上げるにより、年間計画の達成を目指してまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,625,413千円(前年同期比17.2%減)、営業損失は32,379千円(前年同期 営業利益26,573千円)、経常損失は56,964千円(前年同期 経常利益22,117千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は71,781千円(前年同期 親会社株主に帰属する四半期純利益3,160千円)となりました。

	前第3四半期連結 累計期間(千円)	当第3四半期連結 累計期間(千円)
売上高	1,964,103	1,625,413
営業利益又は営業損失(△)	26,573	△32,379
経常利益又は経常損失(△)	22,117	△56,964
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は四半期純損失(△)	3,160	△71,781

また、四半期連結会計期間毎における経営指標は以下の通りであります。

	第1四半期 連結会計期間(千円)	第2四半期 連結会計期間(千円)	第3四半期 連結会計期間(千円)
	自2025年4月1日 至2025年6月30日	自2025年7月1日 至2025年9月30日	自2025年10月1日 至2025年12月31日
売上高	522,002	570,222	533,187
営業利益又は営業損失(△)	△60,117	17,690	10,047
経常利益又は経常損失(△)	△82,757	17,427	8,364

セグメント別の状況は以下のとおりであります。また、各事業分野のセグメント利益は、全社管理部門費用285,777千円を含まない額であります。

## ・マルチリンガルCRM事業の概況

マルチリンガルCRM事業におきましては、日本語を含む13言語を活用し、外国人と日本人のコミュニケーション問題を解決する多言語・通訳ソリューションを24時間365日体制で提供しております。

当セグメントにおける主要サービスである多言語によるサポートニーズですが、訪日外国人観光客の増加に伴い、当第3四半期連結累計期間については、入電数や新規案件の引き合い増など、インバウンド関連は右肩上がりの状況が継続しております。しかしながら、売上・利益の額が大きい日本語案件と比較すると、規模はまだ成長途上であるため、今後も営業活動を継続して案件の増加に取り組んでまいります。

また、案件単位の売上・利益の額が大きい官公庁等の入札業務については、2025年8月に公表した株式会社日本

旅行との業務提携による、公務・地域事業の共同推進により、第2四半期以降開始となる案件については計画に近い形で獲得が進捗いたしました。しかしながら当第3四半期につきましては首相交代による政権の枠組み変更などにより、入札の公示が後ろ倒しとなるなど外部要因による影響を大きく受けたことによって獲得計画との乖離が生じ、また、競合の参入増や係る人件費の高騰などから原価の面では厳しい環境が続く、売上及び利益の確保においては計画を下回る進捗となりましたが、今後も同社とのアライアンス拡大に注力し、強固なパートナーシップを目指してまいります。民間企業からの日本語案件につきましては、前期後半から注力している通販のカスタマーサポートに加え、BizTAP AIのライセンス販売及びAI関連業務の開発受託など、新たな収益源が立ち上がっておりますが、入札業務で計画していた利益のカバーについては現状においては限定的な状況となっております。

以上の結果、マルチリンガルCRM事業全体では、売上高は1,224,869千円（前年同期比9.7%減）、セグメント利益は156,537千円（同33.3%減）となりました。

	前第3四半期連結 累計期間（千円）	当第3四半期連結 累計期間（千円）
売上高	1,357,022	1,224,869
セグメント利益	234,765	156,537

・セールスアウトソーシング事業の概況

セールスアウトソーシング事業では、主に当社がクライアント企業に代わって見込みユーザーに対してインサイドセールス等を行っております。当第3四半期連結累計期間については、主力業務であります訪問による東京電力グループの顧客向け営業業務が計画に近い形で進捗しました。一方、もう一つの主力業務であるソフトバンクにおける契約勧奨業務については、他社業務委託先による個人情報流出の疑いによって営業目的での架電が第2四半期中に停止となり、当第3四半期連結累計期間においては、売上については代替案件を目的としたモバイルプロモーション関連事業を事業譲受にて取得して展開しておりますが、案件の立ち上がり時間に時間を要していることから計画を下回る進捗となったものの、セグメント利益についてはほぼ計画通りで推移いたしました。第4四半期以降については同案件を立ち上げることで、年間計画の達成を目指してまいります。

以上の結果、セールスアウトソーシング事業全体では、売上高は426,562千円（前年同期比30.6%減）、セグメント利益は96,860千円（同0.7%減）となりました。

	前第3四半期連結 累計期間（千円）	当第3四半期連結 累計期間（千円）
売上高	614,857	426,562
セグメント利益	97,505	96,860

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は現金及び預金が増加した一方、売掛金及びその他資産の減少並びに固定資産の償却などにより、前連結会計年度末に比べ149,379千円減少し2,694,130千円となりました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ138,429千円減少し1,926,164千円、固定資産は前連結会計年度末に比べ10,950千円減少し767,965千円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計はその他流動負債が増加した一方、買掛金及び長期借入金などが減少したことにより前連結会計年度末に比べ59,479千円減少し800,752千円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は利益剰余金の減少及び自己株式の取得などにより前連結会計年度末に比べ89,899千円減少し1,893,377千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績につきましては、2025年5月13日及び2025年5月26日((訂正後)2025年5月13日)に公表いたしました業績予想に変更はありません。今後、業績予想の修正の必要性が生じた場合は速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,407,147	1,466,451
売掛金	480,316	406,971
その他	177,299	52,751
貸倒引当金	△170	△10
流動資産合計	2,064,593	1,926,164
固定資産		
有形固定資産	116,147	125,001
無形固定資産		
のれん	18,463	99,057
顧客関連資産	276,750	246,000
その他	201,512	88,506
無形固定資産合計	496,726	433,563
投資その他の資産	166,041	209,400
固定資産合計	778,916	767,965
資産合計	2,843,510	2,694,130
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	71,795	58,417
短期借入金	400,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	144,000	144,000
未払法人税等	4,467	2,637
賞与引当金	760	—
その他	121,365	186,983
流動負債合計	742,388	792,038
固定負債		
長期借入金	108,000	—
資産除去債務	1,037	1,045
その他	8,806	7,668
固定負債合計	117,843	8,714
負債合計	860,232	800,752
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	548,024	554,037
資本剰余金	536,449	542,462
利益剰余金	635,496	563,714
自己株式	△85,746	△123,132
株主資本合計	1,634,223	1,537,082
新株予約権	21,466	21,336
非支配株主持分	327,586	334,957
純資産合計	1,983,277	1,893,377
負債純資産合計	2,843,510	2,694,130

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	1,964,103	1,625,413
売上原価	1,521,261	1,335,846
売上総利益	442,841	289,566
販売費及び一般管理費	416,268	321,946
営業利益又は営業損失(△)	26,573	△32,379
営業外収益		
受取利息	172	1,334
雇用調整助成金	58	—
還付加算金	8	202
保証金精算益	140	—
その他	45	151
営業外収益合計	423	1,688
営業外費用		
支払利息	4,153	5,531
支払手数料	726	343
事務所移転費用	—	20,383
その他	—	13
営業外費用合計	4,879	26,272
経常利益又は経常損失(△)	22,117	△56,964
特別利益		
自己新株予約権消却益	837	—
特別利益合計	837	—
特別損失		
固定資産除却損	0	2,785
特別損失合計	0	2,785
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	22,954	△59,749
法人税、住民税及び事業税	9,976	5,142
法人税等調整額	10,714	△481
法人税等合計	20,690	4,661
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,263	△64,410
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△896	7,371
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	3,160	△71,781

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,263	△64,410
四半期包括利益	2,263	△64,410
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,160	△71,781
非支配株主に係る四半期包括利益	△896	7,371

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年2月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式43,700株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が37,785千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が123,132千円となっております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	102,089千円	65,327千円
のれんの償却額	67,478	16,863

(セグメント情報等の注記)

## I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	マルチリンガル CRM事業	セールスアウト ソーシング事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,352,422	611,681	1,964,103	—	1,964,103
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,599	3,176	7,776	△7,776	—
計	1,357,022	614,857	1,971,879	△7,776	1,964,103
セグメント利益	234,765	97,505	332,270	△305,697	26,573

(注) 1. セグメント利益の調整額△305,697千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	マルチリンガル CRM事業	セールスアウト ソーシング事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,198,850	426,562	1,625,413	—	1,625,413
セグメント間の内部売上高 又は振替高	26,018	—	26,018	△26,018	—
計	1,224,869	426,562	1,651,431	△26,018	1,625,413
セグメント利益又は損失(△)	156,537	96,860	253,397	△285,777	△32,379

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△285,777千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。